

(公 印 省 略)

2026年 3月 3日

学 校 長 様

青少年のための科学の祭典ひょうご県内大会
連絡協議会 委員長 原 俊 雄
(神戸大学くさの会)

「青少年のための科学の祭典2026」ひょうご5会場大会への
出展募集について (送付)

このことについて、別添の「青少年のための科学の祭典2026」ひょうご5会場大会への出展募集要項を送付いたします。貴校の関係職員にご回覧をお願いします。

※ 文書中の電子メールアドレスは、迷惑メール防止のために@を●に変更しています。
送信の際に、@に修正してください。

問い合わせ先：
兵庫県立神戸高等学校
担当 中澤 克行
Tel 078-861-0434
E-mail : saiten@hyogo-c.ed.jp

2026年 3月 3日

関係者様（理科・技術家庭科・数学科等、関係の先生方でご回覧していただくようお願いいたします）

青少年のための科学の祭典ひょうご県内大会連絡協議会

委員長 原 俊雄（神戸大学くさの会）

〒654-0002 神戸市須磨区明神町2丁目1の22

Tel 090-1021-8390 E-mail toshiohara895@gmail.com

「青少年のための科学の祭典2026」ひょうご5会場大会 への出展のお願い

早春の候、いかがお過ごしでしょうか。

さて私たち「青少年のための科学の祭典」ひょうご県内大会実行委員会は、昨年の2025年度第31回の大会に引き続き、小学校から大学までの幅広い年代の青少年に、自然科学の面白さや楽しさを実際に体験し、発見の喜びを知ってもらおうと考えています。広い兵庫県域のできるだけたくさん子どもたちが参加できるようにと、下記のごとく7月下旬から9月上旬にかけて豊岡・丹波・姫路・東はりま・神戸の5会場で開催を予定しています。

この「青少年のための科学の祭典」は、過去30数年の間に全国各地で開催され、多くの成果を上げてきています。今年も、北海道から九州まで全国の都道府県の100以上の会場で開催が計画されています。

ひょうご5会場大会では、例年、自然科学系部活動の生徒が出展やボランティアスタッフとして大勢参加し、生徒どうしの発表・交流の場ともなっています。

添付の「青少年のための科学の祭典2026」ひょうご5会場大会 開催趣旨をご高覧のうえ、ぜひご出展くださいますよう、よろしくごお願い申し上げます。また、お知り合いの方にお声をおかけいただき、ご出展をお誘いしていただければ幸いです。

なお、予算が限られているためボランティア精神でのご参加をお願いいたします。

記

◆開催概要 名称：「青少年のための科学の祭典2026」ひょうご5会場大会（第32回）

期日・会場：豊岡会場	7月25日(土)・26日(日)	兵庫県立但馬文教府	(豊岡市)
丹波会場	7月26日(日)	ゆめタウン「ポップアップホール」	(丹波市)
姫路会場	8月8日(土)・9日(日)	兵庫県立大学姫路工学キャンパス	(姫路市)
東はりま会場	8月22日(土)・23日(日)	加古川市民交流ひろば	(加古川市)
神戸会場	9月5日(土)・6日(日)	バンドー神戸青少年科学館	(神戸市)

開催時間（予定）：神戸会場：10:00～16:30 神戸以外の会場：10:00～16:00

主催：「青少年のための科学の祭典」豊岡会場実行委員会 丹波会場実行委員会
(共催) 姫路会場実行委員会 東はりま会場実行委員会
神戸会場実行委員会

(予定を含む) 公益財団法人日本科学技術振興財団 公益財団法人ひょうご科学技術協会
日本物理教育学会近畿支部 神戸大学くさの会（理学部同窓会）

「青少年のための科学の祭典2026」ひょうご5会場大会(第32回)

開催趣旨

わが国の人々の生活は、科学技術に支えられています。環境を守り潤いのある豊かな自然の中で暮らしていくためにも、科学技術は必要です。しかし、ここ30年ぐらい前から、若い世代の自然科学と科学技術に対する興味や関心の低下が進んでいるとの懸念が指摘されています。21世紀も四半世紀が過ぎ、自然科学および科学技術は猛烈な速さで進展しています。特に、生成AIに代表される人工知能の猛烈な発達は、人間の知的活動を凌ぐ勢いです。そのような状況の中で、青少年が、自然科学の真の面白さ楽しさを体得し、未来への大きな夢を育むことができる環境をつくることは、国をあげて取り組まねばならない最も重要な課題のひとつです。

以上の観点から私達は、彼の阪神淡路大震災からの復興の思いも込めて、大震災から1年が経つ寸前の1996年1月6,7日に「'95 青少年のための科学の祭典」神戸大会(第1回)を神戸市立青少年科学館(バンドー神戸青少年科学館)で開催し、1998年度からは兵庫県下に独立した会場を増やしながらかつて29回開催してきました(2020、2021年度はコロナ禍で中止)。その間、毎年新たな一歩を踏み出す大会を開催してきました。理科・自然科学教育の本質は、系統的な教育にあります。即ち、一つ一つ積み上げて理解した上に、更に高度な内容を教え理解を促すところにあります。それができるのは、小・中・高校そして大学の系統的な日常学校教育です。日常学校教育における理科・自然科学教育の進展なくして、若者の理科離れを無くす手だてはありません。そして、地域の住民、団体が学校と手を携えて子ども達の教育を進めることが肝要です。

私達は、科学の祭典が単に一過性のお祭りで終わることなく、その地域の系統的な日常学校教育の進展に寄与する事を希求しています。そのために、以下の方針の基、兵庫県下5会場科学の祭典を開催してきました。

- (1) 兵庫県の広い地理的条件を考慮し、兵庫県内の全ての青少年が参加できるように、5会場で開催する。
- (2) 実行委員会組織は、その地域に生活と教育の基盤を置く人達で独立に構成する。
- (3) その地域に生活と教育の基盤を置く人達が、企画、準備、演示・展示・実験等の開催の全てを行う。
- (4) 科学の祭典の開催にあたっては、高校生等をスタッフとして採用し、教師と生徒といっしょに創りあげる。
- (5) 青少年のための科学の祭典ひょうご県内大会連絡協議会は、5会場の実行委員会を緩いネットワークで結ぶ。

こうすることにより、その地域の日常学校教育と科学の祭典活動が有機的に結びつき、お互いの発展に繋がると信じています。

2020年度(第26回)、2021年度(27回)は、神戸市、姫路市、加古川市、豊岡市そして丹波市の5会場で開催するべく準備を進めてきましたが、新型コロナウイルスの蔓延により、誠に残念ながら中止せざるを得ませんでした。2025年度(第31回)は、5会場が自らの状況に応じた独自の新型コロナウイルス対策を講じながら、対面方式で開催しました。その結果、9,176人の青少年達が来場して、科学の面白さ、楽しさを体験しました。

2026年度(第32回)は、”人と人との対面での双方向の科学の祭典”を目指して開催します。

「青少年のための科学の祭典 2026」ひょうご5会場大会

【今後の予定】（出展予定者には、変更の場合ご連絡いたします。）

4月10日(金)出展募集一次締切（各会場事務局担当者へ必着、Fax可）

- ↓ この間、実行委員会（企画担当）で出展内容の調整を行う
- ↓ 実験演示調査票発送・実験解説集の原稿依頼開始

4月19日(日)第2回ひょうご県内大会連絡協議会（14:00～バンドー神戸青少年科学館4Fプログラミングラボ）

- ↓ 出展内容の最終調整

5月7日(木)実験演示調査票・実験解説集原稿 提出締切【厳守!】

- ↓ 原稿内容検討・修正依頼・編集作業
- ↓ 安全審査委員による実験内容の等の審査

5月17日(日)第3回ひょうご県内大会連絡協議会（14:00～バンドー神戸青少年科学館4Fプログラミングラボ）

- ↓ 実験内容検討・参加者募集計画決定
- ↓ 修正・訂正原稿提出→6月中旬 印刷発注
- ↓ 実験解説集・ちらしの印刷ができしだい、広報活動を行う

7月11日(土) 神戸会場拡大実行委員会（14:00～バンドー神戸青少年科学館4Fプログラミングラボ）
神戸出展者全員参加

7月～8月（日時は未定）各会場拡大実行委員会 各会場出展者全員参加

※ 各会場とも開催前日の午後 会場設営・出展物品の搬入・設置・準備を行う予定です。

出展を考えているが、年度当初で、部活動その他の日程が未確定のため出展できるかどうか分からない、また、内容が未定であると言った場合でも、ひとまず応募しておいてください。予定が判明しだい、出展の可否や内容をご連絡いただければ結構です。

“ 生徒主体の出展 ” の募集について

◆ ひょうご5会場では、他府県にはない特色として中学生・高校生を対象に「生徒主体の出展」を積極的に募集しています。ぜひ、貴校の理科系の部活動やクラス、生徒有志など生徒の団体でご出展ください。

- ・ 原則として応募、準備、解説書執筆、書類提出、出展などを生徒主体で行います。
- ・ ただし、顧問の教員が責任者となっていただきます。
- ・ 生徒がメイン講師ですが、開催当日の演示中は、必ず顧問に付き添っていただきます。

この大会を校外での発表の場として、部活動の発展、そして活性化、また他校との交流の場としてご利用ください。また、各学校で生徒が行った課題研究や総合的な探究の時間における成果の発表の場としてもご利用ください。

なお、応募用紙は「生徒主体用」出展企画書で各会場事務局担当者へご提出ください。

◆ 自然科学系部活動部員への呼びかけの文書を末尾に付けています。生徒へお渡しのうえ、ご相談ください。

【 会 場 案 内 】

神戸会場：バンドー神戸青少年科学館

URL：<http://www.kobe-kagakukan.jp/>

〒650-0046 神戸市中央区港島中町7-7-6 Tel 078-302-5177 Fax 078-302-4816

三宮駅からポートライナー（北埠頭行き）乗車 「南公園駅」下車徒歩3分

姫路会場：兵庫県立大学 姫路工学キャンパス

URL：<https://www.eng.u-hyogo.ac.jp/index.html>

〒671-2280 姫路市書写2167 Tel 079-266-1661

JR姫路駅から神姫バス乗車（約30分） 「県立大工学部前」バス停下車

アクセスマップ：<https://www.eng.u-hyogo.ac.jp/access/>

豊岡会場：兵庫県立但馬文教府

URL：<https://www.tajimabunkyou.com/>

〒668-0056 豊岡市妙楽寺41-1 Tel 0796-22-4407(代) Fax 0796-23-0998

JR豊岡駅から南へ2 km 乗用車で5分徒歩25分

丹波会場：ショッピングセンターゆめタウン「ポップアップホール」

URL：<https://www.youme-tb.com/>

〒669-3467 丹波市氷上町本郷300 Tel 0795-82-8600 Fax 0795-80-2092

JR福知山線石生駅下車 北西2 km 北近畿豊岡自動車道（春日和田山道路）氷上ICすぐ南

東はりま会場：加古川市民交流ひろば

URL：<https://www.city.kakogawa.lg.jp/soshikikarasagasu/shiminbu/kyoudou/hiroba/>

〒675-0065 加古川市加古川町篠原町21-8 Tel 079-451-8002 Fax 079-425-0200

JR加古川駅から南へ徒歩約2分 加古川ヤマトヤシキが入るカピル21ビルの5階

★「青少年のための科学の祭典」ひょうご事務局のインターネットホームページ

以下のサイトで、本年度の応募書類・配付資料や過去の資料を閲覧・入手できます。

URL：<http://www.hyogo-c.ed.jp/~saiten/>

「青少年のための科学の祭典」姫路会場のホームページ

URL：<http://saitenhimeji.web.fc2.com/>



【 出展書類の提出先 】

出展のご応募は、別紙書類（出展企画書）を、各会場事務局担当者宛にご送付願います。

開催日が異なれば、複数会場への出展も可能です。企画書をコピーして、それぞれの会場事務局へお送りください。

提出締切 2026年4月10日（金） 必着（電子メールへの添付で送信してください）

【ひょうご5会場実行委員会 事務局（出展応募先）】

※2026年2月現在（4月から変更することがあります）

▲ ひょうご県内大会連絡協議会事務局および神戸会場事務局：

兵庫県立神戸高等学校（中澤 克行）

〒657-0804 神戸市灘区城の下通1-5-1 Tel 078-861-0434 Fax 078-861-0436

E-mail : saiten@hyogo-c.ed.jp

▲ 姫路会場事務局：

兵庫県立香寺高等学校（大塚 晴輝）

〒679-2163 兵庫県姫路市香寺町土師547 Tel : 079-232-0048 Fax : 079-265-2070

Email : haruki_otsuka@hyogo-c.ed.jp

▲ 東はりま会場事務局：

大平 雅子 〒671-2203 姫路市書写台3丁目55番地

Tel 090-5015-5419 Fax 079-266-4082

E-mail : saiten.higashiharima@gmail.com

▲ 豊岡会場事務局：

安東 正敏 〒669-5344 兵庫県豊岡市日高町夏栗742

Tel 090-1147-5467 E-mail : VYB04756@nifty.ne.jp

▲ 丹波会場事務局：

兵庫県立篠山産業高等学校（宇治宮 隆文）

〒669-2341 兵庫県丹波篠山市郡家403-1 Tel 079-552-1194 Fax : 079-552-1196

E-mail : ujimiya3@hotmail.com

※ 迷惑メール対策のためアドレスの @ を ● にしています。@ に修正して送信してください。

【出展企画書記入の手引き】

演示講師氏名：

- ・複数の講師で出展の場合は連名でご記入ください。（代表は1名ご記入ください）
- ・複数講師を予定しているが、現在未定の場合は、お一人のお名前でご提出ください。
実験演示調査票提出締切までに決定しておいてください。
- ・生徒等の補助スタッフは、後日登録していただきますので記入しなくて結構です。
- ・連絡先は、代表演示講師の勤務先と自宅をご記入ください。今後の書類発送等の連絡は、代表者に行いますので、他のスタッフへの連絡は、代表者からお願いします。
- ・1人の代表演示講師で1件の出展を原則にしてください。また、代表演示講師が他の出展の講師をかねることは避けてください。
- ・生徒主体の出展の場合は「生徒主体用」企画書に、上記に準じてご記入ください。

出展形式：下記の3種類を予定しています。（会場により異なります）

- ・ブースの場合、屋内・屋外のどちらか希望される方を○で囲んでください。
- ・ステージでの演示も可能な内容の方は「ステージも可」を○で囲んでください。

形式	特 徴 (会場により多少異なります)	予定数
ブース	縁日の出展のように、多くの子どもたちが連続して訪れる形式。基本的には長机(60 cm×120 cm)とバックにパネル板(高210 cm×幅180 cm)が使用できます。 ※特別なスペースや・造作が必要な場合は、その旨詳しくご記入ください。	20～40 程度
ステージ	ステージ上で、いくつかの実験などを連続的に演示する形式。 準備・片づけを含めて1回60分以内、1日に午前と午後の2回を予定してください。	2～3程 度
ワークショップ	1回20～30人を定員として、一斉に比較的じっくりと実習や工作をしてもらう形式。 。時間は、準備・片づけを含めて1回60分以内、1日に2～3回を予定してください 。当日の会場予約受付をし、工作室・実験室などで行います。	会場に より2～ 8程度

- ※1 電源は、壁面などの100 Vコンセントから引いてきますので、1回路20 Aです。多くのブースで一
緒に使えるよう、使用電力量はできるだけ小さくなるように工夫してください。
- ※2 都市ガスは、使えません。ハンドバーナーやカセットコンロなどで工夫してください。
- ※3 水は、手洗い場からくんでくれば使用可能です。
- ※4 廃液や大きなゴミは、持ち帰って処理してください。
- ※5 姫路会場には、ステージ形式はありません。

出展内容の調整：

- ・応募された出展について、内容が重複している場合や予定数をオーバーした場合は、実行委員会から出展内容の変更のお願いをすることがあります。
- ・会場の都合上、出展が困難な場合や安全面に配慮が必要な場合に、ご相談をすることがあります。

出展の準備： 昨年以上に予算が限られています。

- ・実験器具、消耗品の購入や準備、当日の演示などは、原則としてすべて各出展者でお願いします。
- ・1団体あたり、必要経費上限10,000円の補助をします。
- ・必要経費を受け取られない団体は、各会場事務局にご連絡ください。
- ・交通費は、支給できません。
- ・来場者の入場は無料です。会場内での物品販売はできません。
- ・県立学校教員が青少年のための科学の祭典に参加する際の服務については、「公立学校教育職員の週休日の振替等実施要領の一部改正」により勤務の振替対象業務等を参考に、勤務校の実情に合わせいただくため管理職とご相談ください。

【青少年のための科学の祭典・ひょうご5会場大会の出展応募に際してのお願い】

青少年のための科学の祭典の共通の考え方は、子どもたちにとって有益であることを目的として、

- (1)安全であること
- (2)科学的に正しい考え方・知識を与えること
- (3)教育的であること

を基本としています。

科学の祭典には不特定多数の子どもたちが大勢参加しますが、その際、限られたスタッフの人数では安全上の注意が行き届かない場合が考えられます。そこで安全を確保するために、出展の応募をしていただく場合に特に次のことをお願いします。

- 1 実験材料に危険が予想される物質(強酸、強塩基、火薬類、水銀、有機溶剤、有毒・有害物質)は使用しないでください。 ※硼砂(四ホウ酸ナトリウム)を使った実験(例:スライム)はできません。
- 2 子どもが扱って怪我をする恐れのある道具(刃物、針、電動工具、ハンダごて、ホットボンド等)は、必ず講師または扱いに習熟したスタッフの監督指導の下で使用してください。子どもだけで使うことのないようにしてください。それが困難な場合は使用させないでください。
- 3 火気を用いる場合、火傷や火災のない様に注意してください。
- 4 液体窒素などの低温物質は安全に扱うための正しい方法、認識を持たせるような注意を来場者に与え、講師またはスタッフのみが扱ってください。子どもの手などに決して触れさせないでください。
- 5 血液、体液の採取、感電、など人体実験に該当するような実験はしないでください。
- 6 実験材料、産物を賞味するなどのために口に入れさせることはしないでください。料理物などの場合は、火を通して細菌中毒の起こりえないものに限ってください。生ものなどは決して与えないでください。(食品を不特定多数に提供する場合は事前に保健所に届けてください。)
- 7 飲料のペットボトルを薬品の容器に使用して子どもの前に置かないでください。
- 8 そのほか、すべての点で子どもの安全を図ってください。

以上、科学の祭典安全委員からのお願いです。

ムリのないように、原則として、1つのグループ
(団体)からの出展は、1つにしてください。

代表生徒氏名	学校名	
(団体名称)		
顧問氏名	顧問 E-mail: (必須)	
学校所在地 〒		
Tel	Fax	
分野： 物理学 化学 生物学 地学 数学 生活科学 その他()	該 当 項 目 に ○ を	
形式： ブース (屋内, 屋外) , ステージ , ワークショップ		
会場： 神戸 , 姫路 豊岡 , 丹波 , 東はりま		複数会場 に出展可 能です。
使用電気器具名と (電力量W) (電力量は、極力小さくしてください)		
使用火気 (名称と台数)		
出展タイトル (20字以内)		
実験のねらい (来場者に科学のどんな楽しさおもしろさを伝えるのか) ○で囲む [参加性 新規性 意外性 日常性 再現性 科学性 創造性 演示性 その他] 複数可 (その他の場合具体的に)		
内容(わかりやすく具体的に)		
※ 実験解説集原稿及び開催当日の説明に、科学的説明 (どんなしくみ, どのような原理を使っているのか) を必ず加えてください。		
紙面が足りないとき、また、委員会への質問などは、別紙を添付してください。		

※ 原則として、1グループ (団体) から、1出展のみにしてください。

理科系・自然科学系の部活動顧問様

このプリントを部員（生徒）にお渡しください。そして「青少年のための科学の祭典」ひょうご5会場大会の趣旨をふまえて、部活動の一環として“生徒主体の出展”で大会へ参加されますようにお勧めください。なお、出展の際は、大会当日の演示中に顧問の先生に付き添っていただかねばなりません。が、よろしく願いいたします。参考のために、過去の「実験解説集」が必要な場合は、連絡協議会事務局宛にご請求いただければ無料で、お送りいたします。

中学校・高校の理科系・自然科学系部活動の部員のみなさん
「青少年のための科学の祭典」
ひょうご5会場大会に参加しましょう！

- ◎ 「青少年のための科学の祭典」は、小学生から高校生までが対象です。
来場した子どもたちに自然科学の体験をしてもらい、そのおもしろさを伝える催しです。
- ◎ みなさんも演示する側になって、
子どもたちにおもしろい実験を見せたり、科学工作を教えてあげたりしませんか。
- ◎ 日常の部活動で行った研究を発表しませんか。
- ◎ 他の学校の部員と交流をしませんか。また、これからの交流のきっかけを作りませんか。
- ◎ 出展の形式は、ブース（会場にならべた机の上で演示する）・ワークショップ（教室で授業のように実験や工作をする）・ステージ（舞台の上で、一連の実験などを行う）の3形式があります。
2025年度は、高校や中学校の科学系の部活動や探究活動など、のべ70グループ（数百名の生徒）が参加しました。
- ◎ 会場と期日は、以下の通りです。

豊岡会場	7月25日(土)・26日(日)	兵庫県立但馬文教府	(豊岡市)
丹波会場	7月26日(日)	ゆめタウン「ポップアップホール」	(丹波市)
姫路会場	8月 8日(土)・ 9日(日)	兵庫県立大学姫路工学キャンパス	(姫路市)
東はりま会場	8月22日(土)・23日(日)	加古川市民交流ひろば	(加古川市)
神戸会場	9月 5日(土)・ 6日(日)	バンドー神戸青少年科学館	(神戸市)

※ 開催時間（予定）：神戸会場：10:00～16:30 神戸以外の会場：10:00～16:00

- 応募は、別紙「出展企画書（生徒主体用）」に必要事項を記入して、各会場事務局まで送ってください。 締切は、4月10日(金)です。



- 応募、準備、解説執筆、書類提出、出展演示などすべてを部員で行ってもらいますが、当日の演示中は必ず顧問の先生に付き添っていただきます。

- 夏休みに、[科学技術館](http://www.kagakunosaiten.jp/)（東京都北の丸公園）で「青少年のための科学の祭典 全国大会」が開催されます。オリジナルな実験や科学工作を発表しませんか。詳細は、URL: <http://www.kagakunosaiten.jp/>